

指定管理者評価シート			
事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	建設局みどりの推進部みどりの管理課 (2536)

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	モエレ沼公園	所在地	札幌市東区モエレ沼公園1-1
告示年月日	平成7年3月31日	面積	1,041,179㎡
公園種別	総合公園		
目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	モエレ沼公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	ガラスのピラミッド、海の噴水、プレイマウンテン、モエレ山、野外ステージ、野球場、テニスコート、陸上競技場		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人札幌市公園緑化協会		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	公募		
指定単位	施設数: 1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(テニスコート、陸上競技場、ガラスのピラミッド)運営(利用料金制度)		
3 評価単位	施設数: 1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

Ⅱ 令和5年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価												
1 業務の要求水準達成度															
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 モエレ沼公園の管理運営にあたっては、以下の基本方針により実施した。 ①平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。 ②関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供する。 ③資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。 ④コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸団体・機関との連携・協働を推進し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高める。 ⑤子どもをはじめとする来園者が、豊かな自然にふれ、自由な発想で遊ぶことのできる公園環境を提供する。 ⑥地域の健康づくり、運動拠点としての価値を向上させ公園の利活用促進につなげる。 ⑦札幌市が世界に誇る文化資産として公園の芸術性の維持とさらなる向上を目指し、来園者に感動と癒しを与える質の高い空間を提供する。 ⑧札幌市の重要な観光資源の一つとして、さらに広く認知され、活用されることを目指す。 ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 1) 平等利用確保の方針 年齢や障がい、ジェンダー、主義・主張、思想・信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い、その他不当な理由によって公園の平等利用が妨げられないよう、また、利用者に不公平感を抱かせることのないようスタッフ教育を徹底し、施設の管理運営を行った。 2) 平等利用のための主な取組及び成果 方針に基づいた取組を継続的に行うことにより、苦情件数は減少している。 ① 平等利用の確保 ▼ ガラスのピラミッド及びレンタサイクル受付に、車椅子及びベビーカーを配置し、無料貸出を実施 ▼ 公園パンフレット、HPは4カ国語対応を維持(日本語・英語・韓国語・中文繁体字・中文簡体字) ▼ 公園HPにおいて、より多くの方々に利用いただけるようウェブアクセシビリティを確保(JIS X 8341-3:2016(レベルAA準拠)) ▼ HPやSNSのほか、園内(館内)の掲示におけるきめ細やかな案内・更新により、イベント・開花情報、施設利用情報等を提供 ② 利用機会の平等 ▼ イベント等で一部公園内に利用制限が発生する場合にはHPや園内掲示で周知を徹底 ▼ 火気使用ならびに占有等の違法行為や不法行為に対する迅速な対応 ▼ ペット連れ来園者のマナー向上のため、HPへの掲示や案内チラシの配布を継続するとともに、園内巡回時に適宜指導	・当公園の設置目的に沿って策定した基本方針および事業目標に則り、利用サービスの充実や満足度の向上など利用者の視点に立ちつつ、効率的な公園の管理に努めた結果、今年度の運営維持管理は概ね順調に遂行できた。 ・全スタッフを対象とした研修を通じて、平等利用に対する意識を醸成したほか、朝礼時での情報共有など日常的な指導を適宜実施。平等利用のための各種取組を年間を通じて実施できた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">適正に策定されているものと判断します。引き続き満足度の高い管理運営を実施していただくよう願います。</td></tr> <tr> <td colspan="4">適切に実施されています。公園利用者の意識やニーズが多様化が進んでいるほか、海外観光客による需要が高まっている中、対応できるスタッフの育成は大事なことで、今後も努めてください。</td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	適正に策定されているものと判断します。引き続き満足度の高い管理運営を実施していただくよう願います。				適切に実施されています。公園利用者の意識やニーズが多様化が進んでいるほか、海外観光客による需要が高まっている中、対応できるスタッフの育成は大事なことで、今後も努めてください。			
A	B	C	D												
適正に策定されているものと判断します。引き続き満足度の高い管理運営を実施していただくよう願います。															
適切に実施されています。公園利用者の意識やニーズが多様化が進んでいるほか、海外観光客による需要が高まっている中、対応できるスタッフの育成は大事なことで、今後も努めてください。															

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 北海道環境マネジメントシステムスタンダード（HES）[ステップ1]に基づくEMSを運用することにより、環境負荷の低減に向けた各種取組を実施した。ここでは、ガラスのピラミッドと園内管理部分について概要を報告する。 ▼ガラスのピラミッド部分 夏期の冷房については、雪冷房システムを稼働しており、CO₂の削減を図っている。平成22年度を除き、平成17年度から今年度までは雪冷房のみで対応していたが、猛暑の影響により、貯蔵していた雪が9月上旬にすべて解けてしまい9月中旬から都市ガス燃料とする冷温水発生機を使用し冷房を行った。 ▼園内管理部分 緑地維持管理作業の中で発生する樹木等の処理については、継続的にチップ化や堆肥化を実施している。 園内で発生した樹木は61m³をチップ化し、サッポロさとらんどへの事業協力（札幌市依頼）として提供した。 前年度に芝刈作業で発生した刈草堆肥約129m³を、昨年同様サクラの森などの樹林へ散布した。	・冷房で都市ガスを使用したためCO₂削減量が例年より少なくなった。次年度以降も気温等状況を注視してシステムを運用していくが、近年の気象状況下では冷房期間が長くなり、雪倉庫容積の限界を超えつつある。今後、冷房システムについてどう運用するか考える必要がある。 ・不要な電灯の消灯や照度調整、季節に合わせた施設開放時間の変更、冬期間における園路灯消灯範囲の拡大、LED電球への交換など継続的に節電に取り組んだ。 ・次年度も引き続き使用量削減に努める。 ・植物性廃棄物については園内にて再利用し、有効にリサイクルを行った。	適切に実施されています。昨今の電気料金及び燃料費の高騰による維持管費の増加を抑えるためにも、節電等の取り組みは必須と考えられるので、引き続き取り組んでください。 また、シラカバの林の木チップの園路はとてもきれいに整備され、利用者にも大変好評であるため今後も継続していただけたらと思います。
▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成） 統括管理責任者には、公園管理運営経験20年以上のマネージャーを配置するとともに、統括管理責任者を補佐・代理を担うサブマネージャーとして学芸員、樹木担当主任など3名を配置した。その他、ボランティアコーディネーター（兼務）、施設管理や緑地管理等作業、受付、監視などのスタッフを配置し、円滑な管理運営を行った。 また、研修計画に基づき、接遇研修、安全衛生教育等を実施するとともに、労働関係法令の遵守と関係規定の整備等により、スタッフが安心して働くことのできる雇用環境を確保した。	・管理運営組織を確立して円滑な業務遂行を図ることができた。 ・研修等は普通救命講習を対象スタッフ全員に実施し、職員のスキルアップとともにその成果を業務に活かすことに努めた。	適切に実施されているため、今後も円滑な管理運営に努めてください。
▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 利用者の満足度や要望等を随時把握するため、ガラスのピラミッド、レンタサイクル、フィールドハウスにそれぞれ意見収集のためのQRコードを設置しているほか、公園HPIにも意見・要望フォームを開設している。また、ガラスのピラミッドでは対面アンケートを実施し、集計・分析を行っている。 なお、主な自主事業イベント開催時にはイベント参加者に対してアンケートを実施し、内容の改善等に役立てている。 事故や怪我、苦情については事故報告書や苦情等対応票を作成し、組織全体で即時に情報共有することにより、類似の事故や苦情発生の予防に努めた。 公園内の巡視・巡回を行うにあたり、要領及びポイントを夏期と冬期に区分して設定し、実施した。	・寄せられた意見・要望は真摯に受け止め、改善できるものについては速やかに対応した。 ・事故発生時には迅速且つ的確に対応し、処置に関する問題はなかった。 ・日常的な巡回と施設点検に重点を置いた巡回を併用し、事故の未然防止に努めた。	適切に実施されています。事故等があった際に、逐次、みどりの管理課に電話連絡していただいていることは大変評価されます。今後も継続して取り組んでください。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) 第三者への委託にあたっては、当協会の「工事及び委託被指名者選考委員会要綱」により「札幌市競争入札工事等参加資格者名簿」(札幌市)の登録事業者を準用し、札幌市内の企業・団体から優先的に選考した。 指名選考委員会を協会内に設置し、委託先を選考するとともに、「契約事務取扱要綱」により、入札または見積り合わせを行い、適正に委託先を決定した。 また、委託先決定後の業務については、委託先から提出される業務工程表、着手届、終了・完了届、日報、月報、期報、点検報告書、点検・業務写真などにより、マネージャー及びサブマネージャーなど複数の検査員によって履行を確認した。 ▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催) ▼札幌市との運営協議会 <table><tr><th>開催日</th><th>協議・報告内容</th></tr><tr><td>3月14日</td><td>・管理業務実施状況 ・管理運営上の問題点 ・自主事業の実施状況 等</td></tr></table> <協議会出席メンバー> みどりの管理課:公園管理係長、公園維持係長ほか 公園緑化協会:モエレ沼公園マネージャー ▼モエレ沼公園利活用協議会 <table><tr><th>開催日</th><th>協議・報告内容</th></tr><tr><td>3月28日</td><td>・公園利用状況 ・事業(イベント・広報・連携事業等)実施状況 ・翌年度の主なイベント予定(自主・持込) 等</td></tr></table> <協議会参加メンバー> 計画:NPO法人モエレ沼公園の活用を考える会、モイレHIDAMARI、モエレ沼芸術花火実行委員会、札幌商店街振興組合、NPO法人公園ねっとわーく、札幌連合町内会、中沼連合町内会、東雁来連合町内会、当協会(モエレ沼公園マネージャー及びサブマネージャー、職員) ▽ 財務(資金管理、現金の適正管理) ▼資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分している。 ▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。 ▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。	開催日	協議・報告内容	3月14日	・管理業務実施状況 ・管理運営上の問題点 ・自主事業の実施状況 等	開催日	協議・報告内容	3月28日	・公園利用状況 ・事業(イベント・広報・連携事業等)実施状況 ・翌年度の主なイベント予定(自主・持込) 等	・第三者への委託については、委託先の決定及び業務の実施とも問題なく遂行できた。 ・運営協議会では、今年度の利用状況や取組の成果を報告したほか、今後の大規模修繕の計画等について協議した。 ・利活用協議会では、当年度の利用状況や次年度の事業計画、改修工事予定など地域の関係者と今後のモエレ沼公園について情報共有する機会となった。 不正行為や事故発生の未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。 不正経理等はなく問題はない。	各種修繕・点検等は四半期報告等にて報告を受け、適切に実施されています。 適切に実施されています。今後も情報共有を適時行い、連絡調整に努めてください。 適切に実施されています。
開催日	協議・報告内容									
3月14日	・管理業務実施状況 ・管理運営上の問題点 ・自主事業の実施状況 等									
開催日	協議・報告内容									
3月28日	・公園利用状況 ・事業(イベント・広報・連携事業等)実施状況 ・翌年度の主なイベント予定(自主・持込) 等									

	▽ 要望・苦情対応 要望・苦情対応については、その対応について受付、責任・担当部署等を明確にして対応・回答し、すぐに改善できることは迅速に対処している。 また、協会内で統一の苦情等対応報告票を活用し、所内のみならず組織全体での情報共有を行っている。 具体的には、要望・苦情として24件の声が寄せられた。内容は、野球場工事に関する利用制限、ペットの散歩、遊具・ビーチの老朽化や海の噴水の故障についてなど多岐に渡った。 ▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施） モニタリングのための公園利用者アンケートについては、日常的に設置しているQRコードによる意見・要望フォーム以外に対面式でのアンケート調査を実施したほか、主要なイベント参加者へのアンケートも適宜行った。 ガラスのピラミッドは特定建築物にあたるため、必要な定期点検を実施した。また、衛生計画書を作成・遵守し、所管部署へ適時報告した。 指定管理期間の提案項目の履行状況を確認し、可能な限り実施するよう取り組んだ。	・公園管理事務所に直接お越しの方や電話で届く件数は年々減少している。苦情や要望はSNSなどで広く拡散されるようになってきていることから、今後も広く情報収集に努め管理運営に反映させたい。 ・モニタリング結果は適宜集計・分析を行い、市への報告書等を遅滞なく提出した。 ・自己評価点検を実施し、改善すべき事項については次年度の管理運営に反映させる。	SNSにおいて、公園における悪い利用マナーの拡散事例が相次いでいるため、今後も注視してください。 適切に実施されています。								
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。 ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金960円(令和5年10月1日発効)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。	・指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実に行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。 ・当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、各公園職員を集め安全大会を開催し、安全講習の実施に取り組んだ。 ・事故が発生した際には、安全衛生委員会において、再発防止に向けた原因と対策について検討を実施し、安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。	<table border="1"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

	・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。 ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。 ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園の担当課長が出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。 ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。 ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。 ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。 ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 ▼当財団では、正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した結果、非正規職員4名を正規職員に内定した。 ▼労働災害発生状況 3件(腰椎打撲、後頭部裂傷、頭頂部刺傷)		適切に実施されています。関係法令の遵守ならびに関係手続を適切に行うとともに、引き続き事故防止に努めるよう、日ごろから、スタッフへの安全教育に取り組んでください。								
(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ①利用者の安全確保及び作業時の事故防止等のために、下記の取組・対策を実施 ▼安全教育や普通救命講習受講による事故等の未然防止や緊急時における即時対応が可能な体制を構築 ▼作業機械の整備不良による事故防止 ▼ハザードマップの作成・公開、ヒヤリハット事例の収集による事故等の未然防止 ▼安全管理の体制づくりと備品(AED、救急箱)の配備 ▼「さっぽろ救急サポーター」への登録 ▼事故・災害等の発生や、利用規制・注意喚起が必要な事象の周知・告知による安全確保 ▼管理作業においては公園利用者の支障にならないよう配慮するとともに、利用規制が生じる場合は作業表示板やセーフティコーンを配置して、安全な公園利用に配慮 ②法令遵守・利用指導による公正とサービス向上 ▼法令遵守と有資格者等による作業の徹底 ▼遺失物法に基づいた対応マニュアルに則した公園の拾得物・遺失物の取り扱い ▼適切な利用指導による不正利用・違法行為の排除 ③当協会の過失または故意により札幌市または第三者等に損害を与えた場合に備え、損害賠償責任保険に加入	・朝礼時や研修を通じて作業及び利用における安全意識の徹底を図り、安全の確保に努めた。 ・急病者等への確に対応するため各職員が普通救命講習の受講経験を活かし、救急車要請時等に迅速に対応することができた。なお、救命救急対応用として、ガラスのピラミッド、フィールドハウス、モエレビーチの3箇所にAEDを配備した。 ・公園利用者への告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を、ガラスのピラミッド・レンタルサイクル・フィールドハウスに掲示した。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">適切に実施されています。</td></tr></table>	A	B	C	D	適切に実施されています。			
A	B	C	D								
適切に実施されています。											

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

施設・設備等の維持管理については、常に適切な状態に維持し、快適かつ楽しく利用できるように努めた。主な施設と管理内容は下記のとおりである。

①ガラスのピラミッド

- ▼開館前、開館中(随時)、閉館前の日常点検
- ▼貸室利用後の点検
- ▼日常清掃(毎日)及び定期清掃(2回/年)
- ▼アトリウムのガラス清掃(内側および外側:1回/年)
- ▼各種法定点検の実施

②雪冷房システム

- ▼雪を貯雪庫に搬入する運用準備
- ▼温度設定と外気冷房・床吸熱設備を併用した細かな日常管理
- ▼清掃やポンプ等の機械設備を点検する運用終了管理
- ▼9月上旬に雪がなくなったため、都市ガスでの冷房に切り替えを実施

③モエレビーチ

- ▼全体点検、清掃、サンゴ舗装の補修等の点検を実施

④海の噴水

- ▼運転準備
- 施設全体、躯体、ポンプ、バルブ、照明、監視システム等の点検及び試運転の実施
- ▼運転プログラムの設定入力
- ▼貯水槽内の残留塩素濃度の測定及び監視カメラによる利用者や動物の侵入監視を行う日常管理
- ▼8月13日に故障。運転を中止
- ▼冬季管理:貯水槽の排水・清掃、ポンプ及びバルブの水抜き、照明器具の冬囲い

・施設・設備の維持管理については、苦情等もなく概ね良好に実施できた。また、経年劣化や老朽化に伴う設備や機械の不具合発生時には、直営または業者による点検や修繕を速やかに実施し、円滑な施設運営に努めた。

・猛暑の影響により、都市ガスの冷房を利用した。今後はより一層温度変化に注視し、環境負荷低減を目指しながら快適な環境維持を目指したい。

・モエレビーチは老朽化がかなり進んでいる状況下で、防止のためサンダルを履いての利用を推奨している。大規模修繕について札幌市と協議したい。

・老朽化の影響で各所が徐々に故障。人気施設のためできるだけ運転しようと試みたが、難しかった。大規模修繕について札幌市と協議したい。

老朽化している施設が多い状況で、指定管理者が日々の維持管理に努めることで、施設が稼働できている状況は大変評価できます。今後も施設・設備等の維持管理を適切に実施してください。

⑤遊具

▼部品の欠落や破損の有無を目視による日常点検

▼定期点検

・月1回、目視・触診・打診・聴診等に加えて、メジャー・ノギス等の計測機器を用いて、前回の計測時から変形・摩耗が生じていないかを点検

・年2回(4月・7月)、社団法人日本公園施設業協会が認定する「公園施設製品安全管理士」または「公園施設製品整備技士」の資格者を有する専門業者に委託して点検実施

▼積雪期前後に一部遊具の設置・撤去を実施

・遊具エリアは順次改修が進んでいるものの、遊具本体の老朽化が進み、使用できないものも多く苦情が多い。特にエリアFについては平成30年の地震の影響が最も大きく、5年が経過した今でも手付かずである。できることから早急に改修を進められるよう札幌市と協議したい。

⑥芝生・草地管理

▼大規模イベントの開催日を考慮し、詳細計画を作成。定期的に作業を実施することを基本とし、園内の利用状況や天候による影響を見ながら臨機応変に対応した。

▼農薬を使用しない管理により、安心・安全を提供した。

▼芝刈・草刈作業時における安全対策を徹底した。

・樹木については、病虫害による枯損が目立つ状況で成長阻害が見られる。土壌改良等の地盤整備をしないと、今後益々枯損が広がる可能性があり、札幌市と相談して対処にあたっていきたい。

⑦樹木管理

▼カラマツの林の虫害については、被害木の伐採後、小康状態となっており、経過観察中である。

▼サクラの管理では、菌核病から樹勢が回復傾向の個体もあるが全体的に罹患率が上がっている状況。

▼支障木については順次剪定や撤去を実施し、チップシュレッダーによりリサイクルを実施した。

▼苗圃では、樹木の育成やサクラの苗木栽培を継続的に行った。

・樹木の日常管理では、ボランティアとの協働により緑に関する講習会のサポートや園場の除草、サクラの下草刈り等を行うことを通じて、市民参加活動を推進した。

・病害による枯損が目立ってきている状況で衰弱が見られる。土壌改良について札幌市と調整したい。

⑧冬季管理

▼1月初旬から十分な積雪があり、歩くスキーコース、ソリコースの開設は予定通りスタートできた。

▼スノーモービルでの圧雪や園路除雪等を実施し、利用者の散歩道を確保した。

▼2月中旬にかなり雪解けが進み、モエレ山斜面に雪割れが見られ芝生が見える状況となり、立ち入りできないように一部ローピングを行った。

▼2月下旬から大雪の日が続き、湿度の高い雪が積もったことから斜面は安全に遊べる状況に復活。3月中旬までソリ遊びができる状況が続いた。

▼屋根の雪下ろしなど適宜実施した。また、大型除雪機械による園路除雪では、スノーポールを適所に設置して園路等破損することなく、施設維持と安全確保に努めた。

・冬季の気温の変化から一昨年度に続き、モエレ山に雪割れができる状況があった。今後も気温変化、積雪状況を確認し、安全管理を徹底したい。

・歩くスキーコース、散歩コース等利用内容ごとの看板を設置したほか、巡回時の案内を強化する等の結果、事故やトラブルを未然に防ぐことができた。

	▽ 防災 防災訓練計画を策定し、年2回ガラスのピラミッド消防訓練を実施した。 ハザードマップ(夏期用・冬期用)を作成し、屋内施設に掲示したほか、季節に応じて公園HPで公開した。	・迅速な対応及び手順、今後の改善点を確認することができた。 ・ハザードマップは随時更新し、工事の情報も含め、最新情報が提供できるようにした。	適切に実施されています。今後も防災訓練等の有事に備えた準備を継続して行ってください。								
(4)事業の計画・実施業務	▽ 学習機会の提供業務 令和元年以来、はじめて人数・会場変更等の制限なしに恒例事業を実施できた。また、予定通りすべての企画事業を実施することができた。 ①芸術関係(美術・音楽等) ▼美術展「鈴木悠哉 ARCHAIC FUTURE」(7/22-8/27):7,996名 ▼鈴木悠哉展ギャラリートーク(8/26):30名 ▼モエレのホワイトクリスマス2023(12/23、24):447名 ▼札幌国際芸術祭2024 未来の雪の公園(1/20-2/25):17,733名 ▼SIAF2024 未来の札幌の運動会ハッカソン(2/23、24):19名 ▼SIAF2024 未来の札幌の運動会本番(2/24):147名 ②自然体験関係 ▼手作りウッドカトラリー1(4/8):7名 ▼サクラツアー(4/29、5/3):18名 ▼花を楽しむミニ盆栽(6/3):10名 ▼木の葉でたたき染め(6/24):2名 ▼親子で楽しむ押し葉アート(8/5):10名 ▼紅葉を楽しむミニ盆栽(9/16):7名 ▼モエレ未来の森づくり2023(10/29):26名 ▼モエレクラフトXV(11/18):20名 ③その他 ▼モエレの1年展(4/22 -5/7):5,722名 ▼愛犬といっしょの公園散歩講座(10/15):10名 ▼やってみよう! 歩くスキー(1/27、2/10):18名 ▽ 持込イベント、メディア等に関する相談業務 公園全体が芸術作品であり特徴的な景観を有することから、今年度も様々なメディアによる取材・撮影希望を受けた。 マラソンやランニング大会、自転車レースなど、当公園の立地や平坦な造りを活かした持込イベントが開催された。受け入れに際しては野球場の工事で使用できない園路等の調整を含め主催者と綿密な調整を行い、事前準備から当日運営・撤去作業まで円滑で安全な実施となるよう随時指導を行いつつ、利用促進に努めた。 また、イベント関係者車両の園内進入を極力抑え、時間帯や曜日を制限するなど、利用者の安全・安心の確保に努めた。	・モエレ沼公園の特徴を生かした美術展や音楽関係のイベントについて、市内の美術家や団体とも協力しながら実施。恒例の事業についてはコロナ禍も継続し開催したことで、来場者数の維持につながった。冬に実施した札幌国際芸術祭では、雪倉庫や屋外を会場にし、新しい冬の公園の魅力づくり、PRができた。総じて参加者の満足度も高い事業が実施できた。 ・自然体験関係のイベントは、植物管理サポーターの積極的な活動により、満足度の高い事業となった。NPO法人モエレ沼公園の活用を考える会との新しい事業も開始し、市民との協働による公園管理がイベントにおいても実現できた。 ・アート関係や観光関連のメディア、テレビ取材、プレス用画像貸出依頼も多く、スピーディな対応と丁寧な広報案内を心掛けることにより、高い満足度を得た。 ・持込イベントに対しては、きめ細やかな事前調整、当日の確認を実施し、大きなトラブルなく対処できた。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> 多くの事業が行われ、賑わいを創出した取り組みがなされたことは評価されます。今後も、利用者の満足度を高められるよう取り組んでください。 年々、イベント関係の相談業務が増加している状況かと思えます。大変かとは思いますが、「公園をより使い倒す」という国の方針も踏まえて、柔軟に公園利用をさせることを念頭に業務を行ってください。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	多くの事業が行われ、賑わいを創出した取り組みがなされたことは評価されます。今後も、利用者の満足度を高められるよう取り組んでください。 年々、イベント関係の相談業務が増加している状況かと思えます。大変かとは思いますが、「公園をより使い倒す」という国の方針も踏まえて、柔軟に公園利用をさせることを念頭に業務を行ってください。			
A	B	C	D								
多くの事業が行われ、賑わいを創出した取り組みがなされたことは評価されます。今後も、利用者の満足度を高められるよう取り組んでください。 年々、イベント関係の相談業務が増加している状況かと思えます。大変かとは思いますが、「公園をより使い倒す」という国の方針も踏まえて、柔軟に公園利用をさせることを念頭に業務を行ってください。											

	▽ 市民の自主活動及び交流の支援業務 ①モエレ沼公園利活用協議会の開催 ▼公園や地域の活性化を目指すとともに、公園の個性の醸成を図るため、ボランティア団体やNPO、周辺町内会参加による意見交換会「モエレ沼公園利活用協議会」を年度末に実施した。 ②モイレHIDAMARI(植物管理サポーター)との連携 ▼年間を通じて、季節に応じた植物観察会やクラフト体験会など植物関係のイベントを協働で実施したほか、苗圃の管理作業やレストラン前花壇の除草作業等の協力を得た。 ③モエレ沼公園の活用を考える会(MFC)との連携 ▼ギャラリートーク、未来の森づくりなど屋内外での事業を連携して実施した。 ・5/13「ギャラリートーク2023:堀越英嗣」 ・9/9「ギャラリートーク2023:八代克彦」 ※同時開催としてモエレ沼公園に関する八代氏の研究成果の展示「モエレ沼公園のシクミ展」(9/9-21)も実施 ・10/28、29「モエレ未来の森づくり2023」 ④地域と連携した活動 ▼公園に隣接する札幌市立中沼小学校と連携し、環境学習を実施(10/2)。 ▼花火大会終了後、主催者及び市民ボランティアによる清掃活動を実施し、約920人の参加があった。 ▽ 情報収集及び提供業務 ①利用者の声収集 ご意見収集のためのQRコード設置のほか、定期的なアンケート調査、主催イベントにおける満足度調査など利用者の意見や感想を収集した。 ②ホームページの充実 公園HPにおいて、スマートフォンやタブレットでもアクセスしやすい環境を提供したほか、Googleビジネス、FacebookやX(旧Twitter)も併用して、工事関連の案内や各施設の開放状況の他、季節ごとの魅力ある情報をタイムリーに発信した。 また、主催事業だけでなく、持込イベントや、イサム・ノグチ関連の情報をウェブ上でシェアし、関連サイトへのリンクを張るなど、利用者の満足度向上につながるようサービスの充実を図った。	・ボランティア活動では、参加メンバーとともにガイドツアーやクラフト体験会等の内容を企画・試行して新しいイベントを考えるなどボランティアの人たちの参加のモチベーションや、イベントの質の向上に繋げることができた。 ・近隣小学校との連携は、住宅街から離れている環境の中で、地域とのつながりを作る貴重な機会となっている。 ・次年度においても、周辺地域や企業、ボランティア、NPO団体との連携を緊密に図っていく。 ・公園HPについては、利用者の閲覧形態が年々多様になる中、ウェブアクセシビリティに準拠するため、更新を実施した。 ・公園の魅力発信にも力を入れて発信できた。今後も様々な方法で発信を継続する。	適切に実施されています。今後もボランティア等と協力してよりよい公園運営をしてください。 様々な媒体を通して公園の情報を発信する取り組みは評価されます。
--	--	--	---

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		R4年度実績	R4年度計画	R5年度実績
庭球場	件数(件)	3,118	—	3,460
	人数(人)	15,974	—	21,090
	稼働率(%)	23.3	—	27.7
野球場	件数(件)	188	—	—
	人数(人)	5,051	—	—
	稼働率(%)	20.9	—	—
陸上競技場	件数(件)	103	—	94
	人数(人)	5,044	—	5,789
	稼働率(%)	13.4	—	13.5
ピラミッド貸室	件数(件)	426	—	469
	人数(人)	9,764	—	15,355
	稼働率(%)	37.6	—	38.3
レンタサイクル	件数(件)	37,545	—	29,908
	人数(人)	36,464	—	28,851
	稼働率(%)	29.0	—	33.6

▽ 不承認・取消・還付・減免

▼不承認＜合計0件＞

▼取消＜合計511件＞

庭球場:9件、陸上競技場:1件、レンタサイクル:501件

▼還付＜合計17件＞

庭球場:23件、陸上競技場:1件

▼減免＜合計554件＞

庭球場:111件、レンタサイクル:443件

▽ 利用促進の取組

▼庭球場・陸上競技場について、公園の利用促進と市民の体力向上を目的として、「スポーツの日」(10月9日)を無料開放した。

▼庭球場にて、ボール・ラケットのレンタルを行った。

▼貸室業務において、スポットライトや、グランドピアノ、電子ピアノ、大型ディスプレイ等の物品レンタルを行った。

・有料施設のうち野球場は硬式化のための改修工事で閉鎖中。その他施設は仕様書通りの期間開放することができた。

・スポーツ施設の利用件数は庭球場の大会利用の需要が戻りきらないが、おおよそ例年並みの利用件数まで回復した。

・貸室は年々貸出件数が増加。前年度比110%となった。次年度も利用者のニーズに応え、さらなる利用者増を目指し、細やかな対応を続けたい。

・レンタサイクルは、猛暑と海の噴水の故障で来園者数が減少したこととともない貸出件数も減少。一方、安全な利用を推進するため、指定管理者で追加購入した分の自転車を本年度より一部削減したため稼働率は上昇した。

・今後も利用者のニーズに即したきめ細かな利用案内・調整を心掛け、稼働率の向上に努める。

コロナ前の利用状況に戻りつつあるかと思います。引き続き、より多くの利用者に使っていただけるような維持管理をお願いいたします。

適切に実施されています。

(6)付随業務	▽ 広報業務		A B C D
	主な広報の取組は以下のとおりである。 ▼公園リーフレットや自主事業のチラシをホテルなどの宿泊施設や公共施設、観光案内所、美術館や博物館等へ配布した。 ▼インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。 ・公式ホームページ ホームページのページビュー数は1,524,091件となっており、昨年度と比較し92%と減少した。 ・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時に対応した。 ・X(旧Twitter)、Facebook、Googleビジネス 各SNSの特性を生かし、施設開放状況やイベント開催情報、利用時のお願い等を都度アップし、より便利に情報を取得し、公園を楽しんでいただけるよう努めた。 ・公園だよりWeb版の公開 3月より紙ベースの公園だよりからWeb版への変更しイベントに特化したページを公開した。 ▼公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和6年3月29日に公開した。 ▼旅行情報誌やポータルサイト、芸術関係媒体等への公園情報の掲載については、聞き取り取材に応じたり、情報を最新に更新したり、画像や映像、資料を提供するなど積極的に対応した。 ▼アートギャラリー北海道に協力・参加し、広報を行った。 ▼札幌市主催のスタンプラリーや民間団体主催のスタンプラリーに参加し、利用促進を図った。 ▼ガラスのピラミッド内の掲示板にて、公園施設及びイベント案内を行った。 ▽ 引継ぎ業務 前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。	・観光客の誘致としてリーフレットやチラシの配布を積極的に実施した。 ・クラフト体験会のチラシや、冬期利用に特化したリーフレットをバイリンガルで作成。手に取りやすくわかりやすいデザインで製作・配布し、利用促進につなげた。 ・イベント時やお花見など季節のトピックをウェブサイト、SNS、メール、リストなどを複合的に使って情報を拡散することで、多くの方に情報を届けることができた。 ・引き続き、各種メディアへの情報発信を続けながら観光スタンプラリーなど他施設との連携事業に参加することで、情報発信をしていきたい。	様々な媒体を通して公園の情報を発信する取り組みは評価されます。

2 自主事業その他					
▽ 自主事業		A	B	C	D
▼主催(共催)イベント 夏休み時期に、札幌・ベルリンで活躍する作家鈴木悠哉による個展を開催した。また恒例のクリスマスコンサートのほか、ボランティア団体と協働での観察会や体験イベントを実施した。冬季には札幌国際芸術祭のメイン会場のひとつとして指定管理者の主導企画で事業を展開し、冬季の利用促進、公園の新たな魅力作りに繋げた。 ▼売店およびウィンタースポーツ用品等レンタル ガラスのピラミッド売店およびオンラインショップではイサム・ノグチ関連の書籍やグッズ、公園オリジナルグッズの販売を行った。その他、各施設に自動販売機を設置したほか、冬季には歩くスキー、ソリ、スノーシューのレンタルを実施した。また、来園者の昨今の利用傾向から券売機にキャッシュレス決済を導入した。		・展覧会やコンサートといった集客事業を令和元年以前と同様の規模で実施。コロナ禍以降の新たな公園の魅力向上を図り、利用促進に繋げた。 ・広く情報を集め、引き続き、来園者のニーズに応えられるよう、自主事業を企画、展開していく。		多様な自主事業を運営している点が評価されます。	
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等		・P2内の障がい者専用駐車区画は、舗装面の色を変えピクトを塗布することで明確に区別しており、さらにコーン設置により適正な利用を促すことができた。		適切に実施されています。	
▼ガラスのピラミッドの清掃業務や各種保守点検業務、警備業務等、第三者に委託する業務については、市内企業に発注した。 ▼車いすやベビーカーの無料貸出を行った。 ▼P2駐車場内の障がい者駐車スペースへの健常者駐車防止やスムーズな入出庫等を目的に、ゴールデンウィークや爆走そり大会等の混雑日に警備員を配置して誘導案内を行った。					

3 利用者の満足度					
▽ 利用者アンケートの結果					
実施方法	▼アンケートはガラスのピラミッドで月2回、土曜日に対面アンケートを実施し、400件の回答をいただいた。 ▼その他、自主事業での主要なイベント開催時にアンケートを実施した。 ▼満足度については、「スタッフの接客態度」は札幌市の要求水準より+5%、「公園の印象」は札幌市の要求水準より+10%を目標値に設定した。		アンケートは市民のみならず観光客など様々な方に回答いただき、意見・感想、利用者状況を通年で把握することができた。		A B C D 目標値を大幅に上回る満足度であったことは大変評価されます。引き続き、質の高い維持管理を行ってください。
結果概要	▼公園全体の印象に対する満足度は、「とても満足」が66.1%、次いで「まあ満足」が30.9%で合計97.0%となり、札幌市の要求水準である70%、目標である80%を大きく上回る数値で達成した。 ▼スタッフの接客に対する満足度は、「大変良かった」が59.4%、次いで「まあ良かった」が29.5%と続き、合計88.9%となり、こちらも札幌市の要求水準80%、目標値85%以上を達成することができた。 ▼来園者の属性をみると、アンケート回答者のうち、「性別」では「女性」が57.3%となり、「男性」の42.0%を15.3%上回った。 「年齢」では「20代」が最も多く27.2%。次いで「40代」が多く17.7%、「50代」が15.5%、「30代」が15.0%となった。若い世代が増加傾向にあるものの、平均して様々な年齢層の方が公園を利用していることが見てとれる。 「職業」では、「会社員」が45.0%で約半数を占め、次いで「主婦／主夫」が16.0%、「学生」が14.3%となっている。 「同伴者」では、「家族(大人のみ)」が38.7%と最も多く、次いで「友達」が28.0%、「1人」が18.7%となった。 「交通手段」では「公共交通機関」が最も多く36.0%、次いで「自家用車」が27.2%、「レンタカー」が27.0%と続いている。過去には圧倒的に多かった「自家用車」が減り、年々「公共交通機関」と「レンタカー」の利用者が増加している。 ▼「居住地」では「北海道外」が75.5%と全体の4分の3を占め、道外観光客の利用者は年々増加傾向にある。次いで「札幌市内」が20.0%、「北海道内」が4.5%となった。 ▼「来園目的」では、「旅行」が最も多く58.0%。次いで「散歩」と「景観が好きで」が同率の25.5%となった。回答の上位は例年とほぼ変わらないが、「旅行」目的の利用はコロナ以前と比べても更に10%ほど高い割合となった。 「来園頻度」では「今日が初めて」が77.5%と全体の4分の3以上を占め、「これまでに何度か来た」が14.2%、「年に1～2回程度」が5.0%となった。初めて来園される方の割合は年々増えており、昨年度から更に7.9%ほど上がった。 ▼イベント参加者への満足度調査では、「鈴木悠哉」展について、「非常に満足した」「満足した」をあわせると合計100%となった。また、「モエレのホワイトクリスマス2023」は「非常に満足した」「満足した」で合計93%であった。いずれの事業も満足度は90%以上となり、非常に好評であった。		・利用者の声を聞き、施設管理、接客対応の向上を目指して日々の管理をした結果、接客の満足度、公園満足度共に目標値を達成することができた。 ・コロナ禍以前よりも観光需要が高まっていることがわかるアンケート結果となった。 ・スマートフォン等で交通手段を各種言語で検索できることから、公共交通機関での来園が増加している。 ・企画したイベントへの評価が非常に高かった。今後も利用者ニーズを踏まえつつ、イサム・ノグチデザインの公園で実施する事業としてふさわしく、かつ自由に自然や芸術に触れ体験することのできるイベントや展覧会の企画を行う。		

利用者からの意見・要望とその対応	▼公園の「良い点」ではきれい」「美しい」「景観がすばらしい」「雰囲気がい」「広々として開放的」など公園独自の魅力に対する称賛のほか、「管理が行き届いている」など植栽や芝草の整備、維持管理に対してのお褒めの言葉を多くいただいた。また、例年と同様にガラスのピラミッドに対する賞賛のコメントも多く集まった。 ▼公園の「悪い点」では、例年のとおりアクセスや案内表示についての不満のほか、ガラスのピラミッドの夏季の空調温度についてのコメントが目立った。また、故障により稼働を停止していた「海の噴水」についての不満も多く見受けられた。	・個別のご意見についても真摯に受け止めるとともに、利用者の要望に応え、いつでも快適に利用いただけるような公園の管理運営を引き続き目指したい。 ・苦情件数は減少傾向にあるが、直接ではなくSNSにや無料の口コミサービスに書き込まれることが多くなっている。今後も幅広い情報収集に努める。	公園の「悪い点」については、なかなか指定管理者の努力だけでは達成できない部分もあるかと思えます。逆に、「良い点」については、今後も評価されるために、引き続き、質の高い維持管理を続けていきたいと思えます。
------------------	---	--	---

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R5年度計画	R5年度決算	差(決算-計画)
収入	187,364	213,203	25,839
指定管理業務収入	172,914	182,698	9,784
指定管理費	153,123	163,752	10,629
利用料金	19,791	18,895	▲ 896
その他		51	51
自主事業収入	14,450	30,505	16,055
支出	186,419	211,138	24,719
指定管理業務支出	177,669	188,448	10,779
自主事業支出	8,750	22,690	13,940
収入-支出	945	2,065	1,120
利益還元	0	0	0
法人税等	945	733	▲ 212
純利益	0	1,332	1,332

▽ 説明

- ▼ 指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関する協定における費用見直し等に関する確認書(電気料金等)」により10,629千円の増となった。
- ▼ 利用料金収入は、コロナ禍以前の平均的な数値にほぼ戻ったが、目標数値にはやや届かず、計画より896千円の減となった。
- ▼ 自主事業収入は、店頭のみならずインターネットを利用した物販が好調であり、計画より16,055千円の増となった。
- ▼ 指定管理業務支出は、全体の経費節減を図ったが、特に光熱水費の高騰が影響し、計画より10,779千円の増となった。
- ▼ 自主事業支出について、商品の仕入増と、事務局経費が増額となり、計画より13,940千円の増となった。
- ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、協会全体として収益の約半分を公益事業に繰り入れている。

入園者数の回復にともない、利用料金はほぼ例年並みとなった。観光需要は順調に回復している。特に海外観光客については、以前よりも多くの国からの来園が見られる。こうした来園者の変化にともなうニーズの変化についても調査し、様々なサービスを見直し、期待に応えられるよう施設を整備し、魅力増、ひいては収入増へと繋げたい。

A	B	C	D
自主事業の収入増を目指して、今後も継続して取り組むよう願います。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持 ▼札幌市公園緑化協会の財務状況等は、令和5年度、赤字決算となり、運営安定化積立資産も取り崩すこととなった。次年度以降、なお一層の経費節減が求められるものの、自主事業の好調を引き続き継続し、経営能力の安定化を図っていく。また、他の構成企業についても、前年度から大きな変化はなく、安定経営能力に問題はない。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼情報公開請求はなかった。 ▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。 ▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。 ▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。		適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
①公園作業実績 ▼施設・設備等の維持管理 日常清掃・点検等により適切な状態を維持し、快適かつ安全に利用できるよう努めた。 また、野球場の改築工事について札幌市、委託業者と密に連絡を取り、工事計画に協力しつつ、利用者の安全を確保した。 また、例年、西駐車場が東区東地区の除雪センターとして利用されており、今年度も11月下旬から3月下旬にかけて設置された。 ▼植物の育成管理 公園の立地環境と植物の特性を十分考慮した年間作業計画を作成、樹木・草花・芝生等を気象状況を考慮しながら、利用目的や用途に応じたメリハリのある管理を行った。 ▼冬期管理 歩くスキーコース、ソリすべりエリアともに計画通り供用できた。また、雪まつりの採雪、札幌国際芸術祭のシャトルバス乗り場の除雪など各団体の要望に応え、安全に公園内で作業をしてもらいつつ、利用者の利便性をはかるように調整・対応を行った。 また、雪庇処理や雪下ろし、施設周りの除雪などを適宜実施したことにより、雪による施設被害はなかった。また、園路除雪ではスノーボールを適所に設置し、大型除雪機械による園路破損を最小限に留めた。なお、雪冷房用の雪入れについても予定数量を確保し、業務期間内に終了した。	▼新型コロナウイルスの感染症の勢いは緩やかになりつつあるが、その他感染症の流行をふまえ、公園施設をスケジュール通りに開放できるよう、感染予防対策として引き続き下記の対策を講じ、スタッフ、利用者が感染しないよう管理運営を行う。 ・体調の悪い際のマスクの着用 ・手洗い、うがいの実施 ・定期的な換気 など ▼一般の公園利用者はもとより、障がい者、乳幼児連れの利用者、高齢者等の利用者が安全・快適に公園を利用できるよう、各種取組を継続するとともに、さらなる充実を図る。 ▼公園利用者からの意見・要望のほか、周辺地域やボランティア、市民団体等の意見をふまえて管理運営に反映させ、親しみやすい公園づくりを目指すとともに、当公園の特徴的な景観や施設を活かした管理運営を行う。また、積極的にイベントを受け入れ公園を身近なものとして利用してもらえるよう受け入れ態勢を整える。 ▼公園の総合満足度平均80%以上(要求水準70%)、接遇に関する満足度85%以上(要求水準80%)を事業目標に掲げ、確実な達成に向けて、維持管理レベルの維持向上ならびに利用サービスの充実を図る。 ▼環境マネジメントシステムに従って環境負荷軽減への取組を継続的に行い、環境へ配慮した運営維持管理に努めるとともに、生態系への配慮や環境保全等に関する普及啓発を推進する。

②施設の利用状況 ▼今年度の入園者数は828,400人で昨年度よりも152,500人減少。過去最高の入園者数を記録した昨年度よりは少なくなったが、多くの来園者を迎えることができた。コロナ禍の終焉と円安等の影響から、観光需要が回復し、東アジアなどが中心であったこれまでの来園層とは異なり、オセアニア、ヨーロッパなどから広く来園した。特に冬季は雪まつり、札幌国際芸術祭の開催が重なり、各国から多くの利用者が訪れ、賑わった。 ③収入状況 ▼スポーツ施設は、前年比101%でほぼ変わらず、レンタサイクルは前年比81%と減少、ガラスのピラミッドの貸室および野外ステージレンタルは前年比113%と増加。これらの結果、利用料金全体では前年比96%と微減した。	▼公園施設が全体的に老朽化が進んでいるため、施設点検の強化や計画的な予防保全、適宜の更新により、ライフサイクルコストの縮減とともに公園施設の長寿命化を図る。
--	---

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
全体的に適切な管理運営がなされています。札幌市の代表的な観光名所であることを念頭に、水準の高いサービスの提供を追及していただき、来園者をより満足させられるように、引き続き努めてください。	施設の老朽化が進んでいるため、点検等の際には、より一層注視するようにお願いします。また、施設改修工事が今後増加してくるかと思しますので、施工業者との調整を引き続きお願いします。